

SAMPLE

お申し込み >

試読 >



ポリオレフィン

Polyolefins

☆RIM POLYOLEFINS INTELLIGENCE DAILY

★No. 3996 Feb 21 2024

Copyright (C) 2024 Rim Intelligence Co. All rights reserved.

—TOKYO, 18:30 JST Feb 21 2024 <Assessment Closing Time>

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

◎お知らせ

○季刊誌『エネルギー通信』第19号発売のお知らせ

リム情報開発は2月20日、エネルギーの「いま」をまとめて把握できる季刊誌『エネルギー通信』第19号を発行しました。今号ではJR東海の水素動力車両に関する特集記事や、脱炭素化に向けて先進的な取り組みを見せるテスHDとシナネンへのインタビュー記事を掲載。化石燃料のデータ集や分析記事に加えて、インドと米国のアンモニア事情など国際的なトピックスも取り上げており、業界の全体像を把握できること請け合いです。『エネルギー通信』第19号で、最新の動向をぜひご確認ください。

『エネルギー通信』は、WEBで閲覧いただくことができます。

お申込み・お問い合わせはこちら

URL: <https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/eneletter/>

○リム創業40周年記念本『エネルギーの歩み』発売のお知らせ

リム情報開発株式会社は2024年2月、創業40周年を記念し、『エネルギーの歩み』を刊行いたします。石油メジャーの誕生から脱炭素化に至るまで、エネルギーの歴史をわかりやすくひも解くとともに、リムならではの市況解説もふまえた充実の一冊です。原油、石油製品、LNG、LPGの貿易統計に加え、年表も資料として掲載しており、業務や勉強に幅広く利用していただけます。この機会にぜひお申し込みください。

定価：33,000円（税込）※送料が別途かかります。

お申し込みは以下のリンクから（サンプルあり）。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/40book/>

◎リムエネルギー総合指数22種（レックス22、2010年平均=100）

21日のレックス22は、前日から0.76ポイント下落し171.39です

リムレポートのご紹介

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/report/>

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック（国内陸上）	ジャパン石油製品（国内海上）	LPG LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス（週刊）	デイリーデータ	Rim Data File
クリーンエネルギー（週刊）	CROSS VIEW軽油/重油	エネルギー通信

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411 E-mail info@rim-intelligence.co.jp



◎Olefins (\$/MT)			
	CFR N. E. Asia	CFR S. E. Asia	FOB Korea
Ethylene	950/ 960	1,000/1,020	920/ 930
Propylene	850/ 870	840/ 860	820/ 840
Butadiene	1,300/1,320	1,250/1,270	1,240/1,260

◎China Domestic (Yuan/MT)	
	East China
Propylene	6,800/ 6,900
Propylene (Shandong)*	- 6,700/ 6,800 -
Butadiene	9,600/ 9,800
SBR	12,700/12,800
BR	12,600/12,900

*Shandong prices refer to ex-tank assessments in the Shandong area.

◎Polymers (\$/MT)				
	CFR China	CFR S. E. Asia	China Domestic*	USD^
LDPE (Film)	1,040/1,060	1,050/1,070	9,200/9,300	1,082
LLDPE (Film)	930/ 970	960/1,000	8,150/8,200	956
HDPE (Film)	940/ 990	980/1,030	8,350/8,400	980 +
HDPE (Yarn)	930/ 980	970/1,020	8,350/8,400	980 +
PP (Homo) - BOPP	890/ 910	970/ 990	—	—
PP (Homo) - Yarn/INJ	880/ 900	950/ 970	7,300/7,350	857 +
PP (Block Co) - INJ	910/ 930	990/1,010	—	—

*Yuan/MT, ^USD calculated from China Domestic.

◎PVC and Feedstocks (\$/MT)			
	CFR China	CFR India	
PVC	785/795	810/820	
Ethylene Dichloride	350/370	—	
Vinylchloride Monomer	570/590	—	

◎Weekly & Monthly Average**				
	13. Feb - 16. Feb	Jan Ave.	13. Feb - 16. Feb	Jan Ave.
Ethylene	950/ 960	871/ 891	1,000/1,020	909/ 929
Propylene	860/ 890	837/ 857	858/ 893	876/ 892
Butadiene	1,240/1,260	1,097/1,146	1,190/1,210	1,047/1,096
FOB Korea				
Ethylene	913/ 923	824/ 844		
Propylene	830/ 860	807/ 827		
Butadiene	1,190/1,210	1,069/1,092		
China Domestic*				
Propylene	/	6,772/ 6,839		
Propylene (Shandong)	/	6,797/ 6,861		
Butadiene	/	8,833/ 8,967		
SBR	/	12,075/12,247		
BR	/	12,039/12,194		
CFR China				
	13. Feb - 16. Feb	Jan Ave.	CFR S. E. Asia	
			13. Feb - 16. Feb	Jan Ave.
LDPE (Film)	1,040/1,060	989/1,009	1,050/1,070	1,006/1,026



LLDPE (Film)	930/ 970	929/ 951	960/1,000	962/ 983
HDPE (Film)	940/ 990	939/ 962	980/1,030	976/ 997
HDPE (Yarn)	930/ 980	929/ 952	970/1,020	966/ 987
PP (Homo) – BOPP	890/ 910	890/ 921	970/ 990	948/ 968
PP (Homo) – Yarn/INJ	880/ 900	872/ 903	950/ 970	928/ 948
PP (Block Co) – INJ	910/ 930	893/ 924	990/1,010	968/ 988
China Domestic*				
LDPE (Film)	/	9,022/9,092		
LLDPE (Film)	/	8,192/8,242		
HDPE (Film)	/	8,422/8,514		
HDPE (Yarn)	/	8,422/8,514		
PP (Homo) – Yarn/INJ	/	7,300/7,400		
CFR China			CFR India	
PVC	755/ 765	743/ 753	780/790	768/ 778
Ethylene Dichloride	350/ 370	320/ 340		
Vinylchloride Monomer	570/ 590	570/ 590		

◎Spread/Olefins (\$/MT)**				
	Ethylene	Propylene	Butadiene	Naphtha
Ethylene	—	95	-355	286 +
Propylene	-95	—	-450	191 +
Butadiene	355	450	—	641 +
Naphtha	-286 -	-191 -	-641 -	—

Calculated from the price difference between each product and CFR Japan Naphtha.

◎Spread/Polyolefins & Intermediate VS Feedstocks (\$/MT)**							
LDPE (Film)	76	PP/Homo (BOPP)	40	SM	29 +	EDC	83
LLDPE (Film)	43	PP/Homo (Yarn/INJ)	30	Phenol	-355 -	VCM	-3
HDPE (Film)	-28	PP/Block Co (INJ)	17	PTA	64 -	PVC	204
				MEG	-36 -		

Calculated from the price difference between each product and its feedstock.

**These are reference prices and not price assessments.

◎オレフィン
○エチレン

アジアのエチレン相場は北東アジア着が950～960ドル、東南アジア着が1,000～1,020ドル、韓国積みが920～930ドルといずれも前日から変わらず。

北東アジア市場は動きの乏しい展開となった。需要家は3月品の買い付け余地があるとみられるが、誘導品相場を考慮すると足元のエチレン相場に割高感があるため、実際に買い付けに動くことをためらっているとの見方がある。一方で現在の原料コスト指標であるナフサ相場や、北東アジアのエチレンの需給バランスを考えるとエチレン相

場が早々に下がる可能性は低い。このため、需要家が希望する価格で買い付けることは難しいのではないかといった見方も市場関係者から寄せられた。

東南アジア市場では、マレーシアのペンゲラン石油精製・石油化学 (PRefChem) が保有するエチレン設備が20日に停電により停止したと伝えられた。ただ、同日中に再開したもよう。これにより同社のバランスに影響が出たといった情報は寄せられていない。

○プロピレン

アジアのプロピレン相場は北東アジア着が850～870ドル、東南アジア着が840～860ドル、韓国積みが820～840ドルといずれも前日からもち合った。

北東アジア着の市場では、売買双方のアイデアに格差が開いており成約難な商況となっている。売り手はスポット玉が少ないため、販売を急いでいない。一方、需要家は誘導品であるポリプロピレン(PP)の相場に強さが見られないため、アイデアを引き上げてまで買い付けようとしない。

韓国では、一部石化メーカーは2～3月にPP設備で20日間程度の定修を行う予定があるが、プロピレンはすでに販売済みと聞かれる。

東南アジア市場では、一部トレーダー筋が3月後半着の売りを打診しているが、需要家の反応が鈍いもよう。

中国国内では、山東地域相場が6,700～6,800元と前日比75元安。需要不振を受けた。

○ブタジエン

アジアのブタジエン相場は北東アジア着が1,300～1,320ドル、東南アジア着が1,250～1,270ドル、韓国積みが1,240～1,260ドルといずれも前日比横ばい。

北東アジア着の市場では、韓国需要家の買いが続いている一方、スポット売り物が限られているなか、需給に引き締め感がある。こうした状況下、相場は底堅い。

韓国では、3月積みのスポット玉の売り物は残り1カーゴ程度と聞かれるが、内需が強いなか、国内で販売消化される可能性が高いもよう。

東南アジア市場では、マレーシアのペンゲラン石油精製・石油化学(PRefChem)のブタジエン設備

が稼働を停止したまま、再開時期が不明。このため、ブタジエンのスポット売り物が見られない。一方、PRefChemが20日に締め切ったミックスC4の販売入札はすでに落札が決まっているようだが、詳細不明。

米国では、既報のとおりシエルのブタジエン設備が不具合で2月前半に稼働を停止した。当初、1週間程度で回復すると伝えられていたが、現時点でも再開したとの情報が聞かれない。

ラフィネート1の取引では、ベトナムのロンソン石油化学が3月積みの3カーゴをスポット販売したことが分かった。

◎ポリオレフィン

中国着のポリオレフィン相場は前日から変わらず。FOBベースの商談では、ポリプロピレン(PP) Homo Yarn/Injection(Inj)の中国品に対し、南米の需要家からの買い気がみられた。需要家は割高な価格で取引されている米国品を中国品で代替しようとしているようだ。ただ、中国国内の供給圧力を背景に中国の売り手の間でも競争は厳しく、輸出価格が押し上げられる様子はみられないという。

東南アジア着のポリオレフィン相場は前日から変わらず。米国メーカー1社はアジア向けの直鎖状低密度ポリエチレン(LLDPE)およびメタロセンLLDPEで20～25日程度の遅配が生じているとの情報が寄せられた。パナマ運河の通航量が制限されている影響を受けている可能性がある。今後、東南アジアのLLDPE Film相場の上げ材料になるのではないかとのも声も聞かれた。

◎日本市場

○オレフィン

日本国内の市場では、このところ製油所でのトラブルが相次いで発生しているものの、オレフィ

ンの原料であるナフサが不足するといった情報は聞かれない。石化製品の需要が全体的に低迷して

おり、各石化メーカーはナフサクラッカーの稼働率を調整しているため、不足が生じにくいようだ。全体的なナフサクラッカーの稼働率は8割前後で推移しているとみられる。また、一部の石化メー

カーは3月以降にナフサクラッカーの定修を予定しているため、すでにナフサの在庫量を調整済みと伝えている。

○ポリオレフィン

日本着のポリオレフィン取引では東南アジアメーカーの3月品で直鎖状低密度ポリエチレン(LLDPE) Filmが1,000ドル台前半、高密度ポリエチレン(HDPE) Filmが1,100ドル台後半でそれぞれ成約された。HDPE Filmは2月品の取引価格に比べ40ドル程度上昇したようだ。LLDPE Filmではベトナム

のロンソン石油化学が稼働を開始したことで、東南アジアから日本向けの売り物が増えているもよう。輸入品のポリエチレンの価格には割安感があるものの、需要家の抱える在庫水準は高いよう買い気に強さはみられないようだ。

2024年 オレフィン関連設備の定修および稼働開始予定

国名	原料/設備	メーカー名	系列	能力	開始時期	完了時期/期間	理由
日本	Nap	ENEOS		443	3月上旬	5月	定修
日本	Nap	東ソー		527	3月5日	4月18日	定修
日本	Nap	丸善石油化学		525	5月中旬	7月中旬	定修
日本	Nap	三菱ケミカル		564	5月	6月	定修
日本	Nap	三井化学		612	7月	45日間	定修
日本	Nap	出光興産		688	9月	10月	定修

生産能力: Nap、エタンはエチレン、PDH、FCC/RFCC、MTP はプロピレンを表す。単位:千トン/年 リム調べ

日本の製油所定修予定

精製会社	地域	能力	開始時期	完了時期/期間	理由
鹿島アロマ	鹿島	35.1	2021年7月		生産調整
東亜石油	京浜	70	12月3日		不具合
ENEOS	麻里布	128	1月27日	4月中旬	定修
出光興産	愛知	160	2月6日		不具合
コスモ	千葉第1	75	2月7日	2月14日	再開
ENEOS	根岸	153	2月13日		不具合

能力は1,000バレル/日 リム調べ

◎PVCおよびPVC原料

塩化ビニル樹脂(PVC)の中国着相場は785~795ドル、インド着相場は810~820ドルと前日から変わらず。昨報のとおり、台湾の主要なPVCメーカーは3月品の売値を中国着が795ドル、インド着が820ドルで提示した。原料コストが高騰するなか、売値は前月から引き上げられたもよう。一方、需要家は即座に買い付けに応じようとせず、取引

はにらみ合いになっているとの指摘がある。日本のPVCメーカーによる売値はインド着が870~880ドルで提示されていると伝えられた。日本品はインドに輸入される際に関税が課せられないため、割高な価格で取引されている。関税の差などを考慮すると、この価格は台湾品の売値と同等とみられる。

◎マーケットニュース**○ENEOS、出光、北電=北海道でG水素サプライチェーン構築へ**

ENEOS、出光興産、北海道電力の3社は北海道苫小牧西部地区で、国産グリーン水素サプライチェーン構築事業で協業する。2030年ころまでに同地区で国内最大となる年間約1万トン以上のグリーン水素製造水電解プラント(100MW以上)を建設する方針だ。製造したグリーン水素を出光興産および地域工場などにパイプラインで供給するサプライチェーンの構築を目指す。

苫小牧市は23年6月に「先進的CCS事業」の一つに選定されており、CO2の分離・回収、輸送、貯留に係る部分を具体的に進めている。今回のサプライチェーン構築と相まって、道内の幅広い産業の脱炭素化への寄与が期待されている。

◎お知らせ**○OPRA原則遵守に関する検証報告書の公開**

リム情報開発は2023年12月20日、証券監督者国際機構(IOSCO)により定められた石油価格報告機関(PRA)に対する原則の遵守に関しまして、合理的保証に基づく検証報告書をウェブで公開しました。当社が発刊する全ての日刊レポートが対象となります。

<対象レポート>

バンカーオイル、原油・コンデンセート、アジア石油製品(Products)、LPG、ローリーラック、ジャパン石油製品、石油化学、LNG、電力

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/pramenu4/>

○バイオマスレポート英語版のお知らせ

リム情報開発が発行するバイオマスレポート(週刊)の英語版が好評です。日本や韓国など北東アジアでも発電燃料として需要が高まっている木質ペレットやPKSといったバイオマス燃料に関する情報を、海外のご購読者にもお届けしています。

- 木質ペレットとPKSの東南アジア積み価格とマーケットコメント
- 木質ペレットの北米積み価格とマーケットコメント
- 木質ペレットとPKSの日本着価格とマーケットコメント
- 木質ペレットとPKSのフレートとマーケットコメント
- 日本や韓国の需要家による買付け入札情報

内容のお問い合わせ、購読のお申込みは、リム情報開発バイオマスチームへ

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/biomassEnglishJp/>

○電力データCD・2022年度版の販売開始について

リム情報開発は、電力入札データの2022年度版CDを、7月18日から販売を開始します。初版となる2014年度版のリリース以来、各方面からご好評をいただいております電力入札データの2022年度版となります。最新版では、2022年4月から2023年3月までの1年間に、全国の公共機関が公募した電力調達について、詳細な情報を提供いたします。2022年度版は、収集件数4,165件(昨年度4,583件)で、うち比較可能なデータは956件(同3,230件)です。

※「比較可能データ」：予定供給量、契約電力、契約金額がそろった案件を集計(入札不調、入札条件が不明などの案件は除外)

**関連記事**

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/news-domestic/1749466.html>

お申込みこちらへ

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contact/form/powerData.html?2020>



※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社]

Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415

e-mail: info@rim-intelligence.co.jp

[シンガポール支局]

Tel: (65) 6912-7359

e-mail: lim@rim-intelligence.co.jp

[北京支社]

Tel: (86) 10-6498-0455, Fax: (86) 10-6428-1725

e-mail: ma@rim-intelligence.co.jp huo@rim-intelligence.co.jp

[上海支社]

Tel: (86) 21-6760-6330/6331

e-mail: rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2024 RIM INTELLIGENCE CO.

お申し込み >

試読 >